

合併のため、今の今まで事業のすり合わせが続いているため、今回は特例として…というか、そうしか仕方がなく、1市3町が、それぞれに23度予算をつくり、それを持ち寄って、新市の来年度予算をつくるという方法が取られます。

3町では、既に作成され、議会に示されているようです。西尾市でも、当然、市単独の分を議会に示すよう求めたところ、市長は拒否。「3月議会で新市の予算を議案として出すから、事前に見せる必要はない」というのですが、それはオカシな話。

西尾市の分はそれとして、前年度の西尾市の予算からどう変化しているのか議員としては確認し、精査する責任がきましょう。9月議会での決算での指摘が生かされているかどうか、どの事業がどのように動いているのか、税収は、借金は、どう変化するのか、諸々を見て理解をしてから3町と合わせた新市の予算を検討し、その良し悪しを判断しなければならないとのりこは思うのですが、いかがですか？

あまりにも時間がないための苦肉の策の予算編成とはいえ、西尾市議会では、3町それぞれの事業内容も把握できていない現状なわけで、「『合算したもの』だけ見れば充分」というのは、乱暴に過ぎます。

税収減は、当然続くと思われます。それぞれの市町の良いところは残し、省くべきは省く…当然のことですが、しかし「サービスは高く、負担は少なく」は無理な話。全国の合併例が証明しています。

その中で、より良い方策を求めていくためには、市長は、議会に対して、十分な情報公開と説明責任を果たす義務があります。

今どきは、「予算編成の途中から、議会に公開しながら進める」という市町もあるんですからね。